



広島アートプロジェクト 2009

いざ、船内探険!

きっ ぼう まる
吉宝丸 展

Kippo Maru: Exploring inside the Ship!

開催結果報告書

広島アートプロジェクト実行委員会



目次

●目次	P.2
●実施概要	P.3
●「いざ、船内探険！吉宝丸」展を終えて	P.5
●会場マップ（表）	P.6
●会場マップ（裏）	P.7
●各会場	P.8
●参加作家一覧	P.11
●開催記録	P.12
①入場者数	
②ドネート	
③会期中のイベント・関連プログラム	
④プロジェクトスクール・インターンプログラム	
⑤ボランティア	
⑥広報	
⑦プロジェクト関連グッズ	
⑧レンタサイクル	
⑨地域との連携	
●アンケート調査結果	P.27

実施概要

会期	2009年9月5日（土） - 9月23日（水・祝）月・火曜日休み(但し、祝日の21・22日は開場)
会場	広島市中区吉島地区各所 広島市吉島福祉センター、吉島東集会所、ぎんざ化粧品店、光南四丁目町内会ちびっこ広場、 キリン木材株式会社、吉島老人いこいの家、南吉島一丁目町内会ちびっこ広場、ボートパーク 広島、広島市環境局中工場、高速3号線工事現場仮囲い、山陽倉庫株式会社（壁面）、フレスタ 吉島店、吉島稲生神社、デイ・リンク吉島店、屋内駐車場、など） ・総合インフォメーションセンター：広島市吉島福祉センター ・各会場間の交通：無料レンタサイクルの貸し出し
参加作家	43組の作家が参加（作家リストp.11参照）
監修	柳幸典（アーティスト・広島市立大学芸術学部准教授）
企画	岩崎貴宏（アーティスト・広島市立大学芸術学部非常勤助教）、友枝望、今井みはる、斎藤彩佳、 CA+T（鹿田義彦、辻原咲紀、梶木淳子、坂本史、田邊美奈子、仁下愛美）
主催	広島アートプロジェクト実行委員会
共催	広島市立大学、財団法人広島市ひと・まちネットワーク 広島市吉島公民館
助成	平成21年度文化庁「文化芸術による創造のまち」支援事業、 財団法人文化・芸術による福武地域振興財団、財団法人アサヒビール芸術文化財団、 財団法人朝日新聞文化財団
特別協賛	広島バス株式会社、株式会社フレスタ
協力	アサヒビール株式会社、エプソン販売株式会社、広島市中区社会福祉協議会、 広島市中区吉島学区社会福祉協議会、広島市中区吉島東学区社会福祉協議会、 広島市吉島福祉センター、広島ボートパーク株式会社、広島市立吉島小学校、 広島市立吉島東小学校、有限会社土岸新聞舗、株式会社中国新聞販売センター
後援	広島市中区光南四・五丁目町内会



広島アートプロジェクト実行委員会

実行委員役員

竹澤雄三 / 理事長
大井健次 / 副理事長
皆本也寸志 / 理事
生田文雄 / 理事
金子文夫 / 理事
柳幸典 / 理事・執行委員長
志賀賢治 / 監事
神谷幸江 / 執行委員
松田弘 / 執行委員
岡本芳枝 / 執行委員
加治屋健司 / 執行委員
飯富和雄 / 執行委員
仙波俊文 / 執行委員

広島アートプロジェクト 2009 プロジェクトチーム

大井健次 / 代表
柳幸典 / 監修
岩崎貴宏 / 企画リーダー
友枝望 / 企画運営担当
今井みはる / 経理・地域連携担当
斎藤彩佳 / 広報・実施管理担当
鹿田義彦 / 情報管理・撮影担当
辻原咲紀 / 企画運営補佐
坂本史 / デザイン・ドキュメント担当
梶木淳子 / 運営補佐・イベント担当
田邊美奈子 / 運営補佐・イベント担当
仁下愛美 / 運営補佐・イベント担当

「いざ、船内探険！吉宝丸」展を終えて

企画リーダー 岩崎貴宏

なぜ今、「宝」なのか？

アメリカの投資銀行であるリーマン・ブラザーズが、ちょうど1年前の、2008年9月15日に事実上破綻したことによる、世界の金融市場に与えた衝撃に端を発する。この出来事は、私がイギリス留学から帰国間際、イギリスポンドが半値に下落してしまうという、現実的な経験をもたらした。自ら握りしめている紙幣から「信頼」という魔法が解け、単なるクシャクシャな紙の価値までに落ちていく感じ。とりとめのない日常の延長線上で、海を越えた世界と繋がりが束縛されている感覚。この事件は、私が大学に入り、美術を勉強し始めた90年代初頭のバブル経済が崩壊し、日本の社会構造が急速に変化し始めた頃を思い出させた。とうの昔に高度経済成長期を過ぎ、成熟期を迎えると同時に、進むべき指標を喪失した日本社会が、この世界的経済危機に直面し、今一度、価値の転換及び、社会のあり方そのものに抜本的な変革を求められている。

金銭的な消費によってもたらされる豊かさではなく、受け継いできた歴史や文化という遺産、自らの培ってきた体験や経験といった財産、それに付随する人との繋がりが示す豊かさ。そのような有形無形の中に価値、豊かさを求めたいと考えた。それは、尺度を一元的に管理される「金」ではなく、個々それぞれの尺度（価値基準）を持ち、またその価値の違いを容認し合うこと。そしてその価値基準を、時間をかけゆっくりと磨いていくこと。すなわちこれを「宝」だと考えた。

* * *

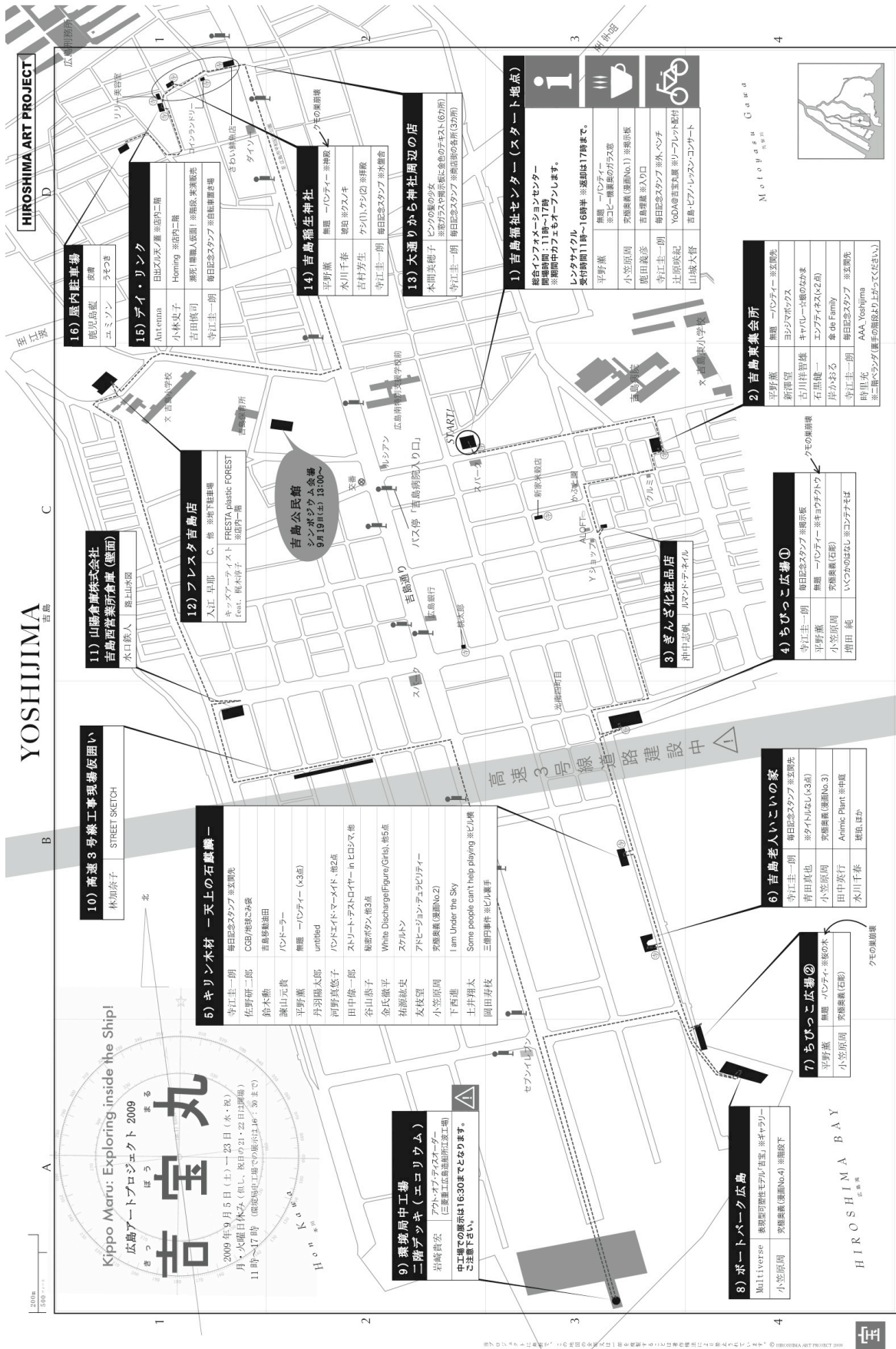
今年で3年目となる広島アートプロジェクト2009は、9月5日の「宝びらき祭り」と銘打ったオープニングを皮切りに、吉島各所を舞台として約3週間、合計43組のアーティストによる展覧会を催した。

公共施設、商店、空きビル、公園、工場、工事現場、スーパー、神社、駐車場、そして民家の軒先といった多様な意味を持つ場を、星座のように繋いだ吉島の街を、多くの方に散策をしていただいた。批判を受けることも承知で、1日では回りきれない広域範囲で作品を設置した。それは、単なる体の良いアミューズメント的なサービスを提供する側（実行委員会）と、それを消費する側（鑑賞者）に分断したくないと考えたからである。眼と頭、体と心を使って、作品とこの吉島という複雑な歴史を持つ町を、じっくり時間をかけて見ていただけていたならば幸いである。

会期中、世界的な金融破綻から1年が過ぎた。広島では、まだ、小さく不可視ではあるが、独自の文化の胎動が聞こえ始めてきている。



会場マップ (表)



⑩ スタンプ 寺江圭一朗「毎日記念スタンプ」のある場所です。 イベント 19日~23日の大島5区界隈を中心に、会期中様々なイベントを開催します。
⑪ リボン 吉島公民館の各サイトをセンターリボンで繋いでいます。 <http://hiroshima-ap.jp.org/>
お問い合わせ 090-2008-7547, 082-830-1635



会場マップ (裏)

<p>B-1 山陽倉庫株式会社 吉島西営業所倉庫 (断面)</p> <p>水口 政人 (断山山水画)</p>	<p>B-2 高速道路3号線工事現場仮囲い</p> <p>林加奈子 (STREET SKETCH)</p>	<p>B-3 ちびっ子広場①</p> <p>寺江 圭一郎 (毎日記念スタンプ) ※水、ペン先</p> <p>小宮原 周 (行影) クモの巣網様 ※紙、コシヤカトウ</p> <p>小宮原 周 (行影) クモの巣網様 ※紙、コシヤカトウ</p>	<p>B-3 キリン木村</p> <p>小宮原 周 (空想風景) ※紙、コシヤカトウ</p> <p>小宮原 周 (空想風景) クモの巣網様 ※紙、コシヤカトウ</p> <p>小宮原 周 (空想風景) クモの巣網様 ※紙、コシヤカトウ</p> <p>小宮原 周 (空想風景) クモの巣網様 ※紙、コシヤカトウ</p> <p>小宮原 周 (空想風景) クモの巣網様 ※紙、コシヤカトウ</p>	<p>A-3 環状島中工場 2階デッキ (エコリウム) ※16:30まで開場</p> <p>岩崎 哲広 (アット・オブ・フェイス・オースター・三番工区広島造船所江波工場)</p> <p>A-4 ボートパーク広島</p> <p>小宮原 周 ※紙、コシヤカトウ</p> <p>Multiverse ※キヤラー (※紙、コシヤカトウ、モザイク、白紙)</p> <p>A-4 ちびっ子広場②</p> <p>小宮原 周 (白影) クモの巣網様</p> <p>小宮原 周 (白影) クモの巣網様</p>
<p>D-1 屋内駐車場 (デイ・リンク裏)</p> <p>鹿見島 藍 (版画)</p> <p>ユミノシ (台モック)</p>	<p>D-1 デイ・リンク</p> <p>井田 航司 (線画、線画、線画、線画)</p> <p>※線画</p> <p>小林 史子 (Homing) ※紙、コシヤカトウ</p>	<p>D-1 吉島稲生神社</p> <p>寺江 圭一郎 (毎日記念スタンプ) ※紙、コシヤカトウ</p> <p>中野 薫 (毎日記念スタンプ) ※紙、コシヤカトウ</p> <p>中野 薫 (毎日記念スタンプ) ※紙、コシヤカトウ</p>	<p>B-3 吉島老人いこいの家</p> <p>田中 英行 (White Discharge/Figure/Girls) (Muddy Stream from a Mug) (海と風(1844)) (Ghost Building)</p> <p>水川 千春 (紙、コシヤカトウ) (生け花)</p> <p>田中 英行 (White Discharge/Figure/Girls) (Muddy Stream from a Mug) (海と風(1844)) (Ghost Building)</p>	<p>D-1 大通りから神社周辺の店</p> <p>寺江 圭一郎 (毎日記念スタンプ) ※紙、コシヤカトウ</p> <p>中野 薫 (毎日記念スタンプ) ※紙、コシヤカトウ</p> <p>中野 薫 (毎日記念スタンプ) ※紙、コシヤカトウ</p>
<p>C-1 フレスタ 吉島店</p> <p>キッズアーティスト Team 帆木淳子 (FRESTA plastic FOREST) ※紙、コシヤカトウ</p> <p>寺江 圭一郎 (C) (フック、針、ワックス) ※紙、コシヤカトウ</p>	<p>C-2 広島市吉島福祉センター</p> <p>丸尾 真紀 (紙、コシヤカトウ、線画、線画、線画、線画) ※紙、コシヤカトウ</p> <p>山崎 大樹 (日常、セブン・イレブン・コンサート) ※9/20コンサートツアー有り</p> <p>中野 薫 (毎日記念スタンプ) ※紙、コシヤカトウ</p> <p>小宮原 周 (毎日記念スタンプ) ※紙、コシヤカトウ</p>	<p>C-3 ぎんざ化粧品店</p> <p>寺江 圭一郎 (毎日記念スタンプ) ※紙、コシヤカトウ</p> <p>中野 薫 (毎日記念スタンプ) ※紙、コシヤカトウ</p> <p>中野 薫 (毎日記念スタンプ) ※紙、コシヤカトウ</p>	<p>C-3 吉島東集会所</p> <p>寺江 圭一郎 (毎日記念スタンプ) ※紙、コシヤカトウ</p> <p>中野 薫 (毎日記念スタンプ) ※紙、コシヤカトウ</p> <p>中野 薫 (毎日記念スタンプ) ※紙、コシヤカトウ</p>	<p>D-1 大通りから神社周辺の店</p> <p>寺江 圭一郎 (毎日記念スタンプ) ※紙、コシヤカトウ</p> <p>中野 薫 (毎日記念スタンプ) ※紙、コシヤカトウ</p> <p>中野 薫 (毎日記念スタンプ) ※紙、コシヤカトウ</p>

HIROSHIMA ART PROJECT 2009
吉宝丸
2009年09月05日(土)~23日(水)

各会場

吉島福祉センター（総合インフォメーション）



展示作家

平野薫、小笠原周、鹿田義彦、寺江圭一郎、
辻原咲紀、山城大督

吉島東集会所



平野薫、新澤望、古川祥智雄、石黒健一、
岸かおる、寺江圭一郎、時里充

ぎんざ化粧品店



沖中志帆

光南四丁目町内会ちびっこ広場



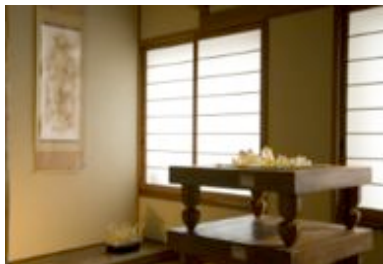
岩井優（オープニング・パフォーマンス）、
寺江圭一郎、平野薫、小笠原周、増田純

麒麟木材株式会社ビル



寺江圭一郎、佐野研二郎、鈴木勲、
諫山元貴、平野薫、丹羽陽太郎、
河野真悠子、田中偉一郎、谷山恭子、
金氏徹平、祐源紘史、友枝望、小笠原周、
下西進、土井翔太、岡田寿枝
（天上の石麒麟）

吉島老人いこいの家



林加奈子、寺江圭一朗、青田真也、
小笠原周、田中英行、水川千春

南吉島一丁目町内会ちびっこ広場



平野薫、小笠原周

ポートパーク広島 ギャラリー



Multiverse、小笠原周

環境局中工場二階デッキ (エコリウム)



岩崎貴宏

高速3号線工事現場仮囲い



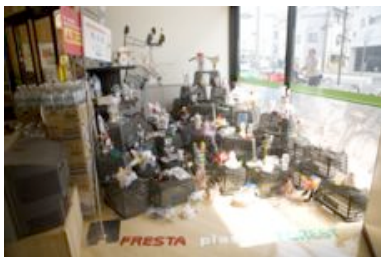
林加奈子

山陽倉庫株式会社吉島西営業所（壁面）



水口鉄人

フレスタ吉島店



入江早耶、
キッズアーティスト feat.梶木淳子

吉島稲生神社



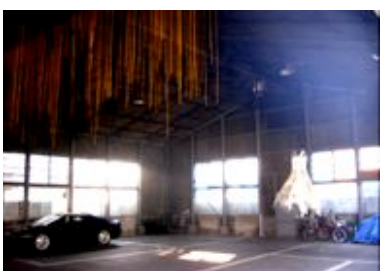
平野薫、水川千春、吉村芳生、寺江圭一郎

デイ・リンク吉島店



Antenna、小林史子、吉田慎司、
寺江圭一郎、本間美穂子

屋内駐車場



鹿兒島藍、ユミソン



参加作家一覧

作家名 / ローマ字

Antenna / Antenna
青田真也 / AOTA Shinya
土井翔太 / DOI Shota
古川祥智雄 / FURUKAWA Sachio
林加奈子 / HAYASHI Kanako
平野薫 / HIRANO Kaoru
本間美穂子 / HONMA Mihoko
入江早耶 / IRIE Saya
諫山元貴 / ISAYAMA Genki
石黒健一 / ISHIGURO Kenichi
岩井優 / IWAJ Masaru
岩崎貴宏 / IWASAKI Takahiro
鹿児島藍 / KAGOSHIMA Ai
金氏徹平 / KANEUJI Teppei
キッズアーティスト feat. 梶木淳子/
kids artists feat. KAJIKI Junko
岸かおる / KISHI Kaoru
小林史子 / KOBAYASHI Fumiko
河野真悠子 / KONO Mayuko
増田純 / MASUDA Jun
水口鉄人 / MIZUGUCHI Tetsuto
水川千春 / MIZUKAWA Chiharu

マルチバース / Multiverse
丹羽陽太郎 / NIWA Yotaro
小笠原周 / OGASAWARA Shu
岡田寿枝 / OKADA Toshie
沖中志帆 / OKINAKA Shiho
佐野研二郎 / SANO Kenjiro
鹿田義彦 / SHIKADA Yoshihiko
下西進 / SHIMONISHI Susumu
新澤望 / SHINZAWA Nozomi
鈴木勲 / SUZUKI Isao
田中英行 / TANAKA Hideyuki
田中偉一郎 / TANAKA Ichihiro
谷山恭子 / TANIYAMA Kyoco
寺江圭一朗 / TERAIE Keiichiro
時里充 / TOKISATO Mitsuru
友枝望 / TOMOEDA Nozomi
辻原咲紀 / TSUJIHARA Saki
山城大督 / YAMASHIRO Daisuke
吉田慎司 / YOSHIDA Shinji
吉村芳生 / YOSHIMURA Yoshio
祐源紘史 / YUGEN Hirofumi
ユミソン / yumisong

計 43 組

開催記録

①入場者数（※計 15 日間）

入場者の集計を行った 7 会場と、ほか吉島地区に点在する 9 会場及び野外のサイトにも展開した本展覧会の入場者数は以下のとおりである。また、メインプログラムとして吉島公民館にて開催したトーク&シンポジウムには 100 人近くの来場者が訪れた。

会場名	人数
吉島福祉センター（総合インフォメーション）	778 人
キリン木材株式会社ビル	809 人
吉島老人いこいの家	556 人
吉島稲生神社	380 人
デイ・リンク吉島店	455 人
吉島東集会所	529 人
ボートパーク広島 ギャラリー	700 人
トーク&シンポジウム	90 人

②ドネート

会期中、総合インフォメーションにてプロジェクトへのドネート（寄付金）を募るドネートボックスを設置した。

合計金額 2,601 円

使用用途 搬出費の一部に補填

※ご協力いただきました皆様に心より感謝申し上げます。

③会期中のイベント・関連プログラム

広島アートプロジェクト2009では、シンポジウムをはじめ、作家と参加者との対話が広がるようなトークイベントやワークショップ、パフォーマンスなどの関連プログラムを積極的に実施した。会期終盤の大型5連休には、幅広い年齢層へとアプローチする多様なツアーイベントなど、様々なスペシャルイベントを開催した。

日時、場所	イベント名	内容	
7月29日(水) 9:00~12:00 吉島東小学校 8月5日(水) 9:00~12:00 吉島小学校	ワークショップ 《1000年後のプラスチック動物あらわる!~未来動物出現~》	吉島地区の小学生を対象に、夏休みワークショップを開催。プラスチックを素材に、未来の動物を共同制作した。	
8月9日(日) 10:00~12:00 吉島福祉センター	レクチャー 「日本のアートプロジェクトの歴史」	日本のアートプロジェクトの歴史を紹介。アートプロジェクト発祥から現在に至るまで、各年代各地域で行われたプロジェクトを振り返る。 特別講師：加治屋健司	
9月5日(土) 18:00~20:00 光南四丁目町内会 ちびっこ広場	オープニングパーティー 《宝びらき祭り》	地域の方や関係者を招いたオープニングパーティー。	
9月5日(土) 19:00~20:00 光南四丁目町内会 ちびっこ広場	オープニングパフォーマンス 《HIROSHIMA wash》 《キャバレー☆蛾のなかま》	オープニングパフォーマンスとして参加アーティスト岩井優による広島の様々な物を同じ水槽で洗い続ける《HIROSHIMA wash》を、古川祥智雄が扮装した“サチコ”による《キャバレー☆蛾のなかま》をそれぞれ行った。	
9月6日(日)、13日(日)、20日(日) 14:00~15:00 吉島地区各所	イベント 《吉島・ピアノ・レッスン・コンサート》	参加アーティスト山城大督による、新しい形のコンサート。鑑賞者はマップをたよりに吉島地区を巡り、ピアノのレッスンを家の前まで行って鑑賞した。アーティスト自身の案内によるツアー形式でも開催。	
9月10日(木) 11:00~14:30 吉島福祉センター	Café イベント 《みんなで作ろう!おいしいベーグル!》	地域の方を中心に参加者を募り開催した「お料理教室」の第1弾。	
9月11日(金)、12日(土)、18日(金)、19日(土) 19:00~20:30 キリン木材株式会社ビル裏	ライブ・パフォーマンス 《キャバレー☆蛾のなかま》	毎週末、古川祥智雄が扮装した“サチコ”による移動式キャバレーがオープンした。	
9月12日(土) 17:30~19:00 吉島福祉センター	イベント 《アーティストトーク VOL.1》	参加アーティスト水川千春、吉田慎司によるトークイベント。	
9月13日(日) 15:30~17:30 吉島福祉センター	Café イベント 《皮から作る 本格肉まん!》	地域の方を中心に参加者をつのり開催した「お料理教室」の第2弾。	
9月13日(日) 17:30~19:00 吉島福祉センター	イベント 《アーティストトーク VOL.2》	参加アーティスト山城大督によるトークイベント。	

日時、場所	イベント名	内容	
9月16日(水)～ 23日(水) 13:00～16:00 吉島地区各所	ライブ・パフォーマンス 《“スクーター”が走る！》	参加アーティスト鈴木勲による、廃プラスチック油 化燃料を利用したスクーターの走行パフォー マンス。会期中、吉島地区で廃プラスチックの収集と走 行を行った。	
9月16日(水) 17:30～18:30 吉島福祉センター	イベント 《アーティストトーク VOL.3》	参加アーティスト鈴木勲によるトークイベント。	
9月17日(木) 11:00～12:00 吉島地区各所(吉島 福祉センター出発)	イベント 《地域のみなさんと巡る 「吉宝丸」ツアー》	地域の方を対象としたスタッフの解説付きツアー。	
9月17日(木) 13:00～16:00 吉島福祉センター	Café イベント 《とろけるおいしさ♡ かぼちゃプリン》	地域の方を中心に参加者を募り開催した「お料理教 室」の第3弾。	
9月17日(木) 13:00～16:00 吉島新町第四公園	ワークショップ 《公園がアートキャンバ ス！》	公園の地面に落ちた影に、木や石ころや葉っぱ、水 などを使って絵を描くワークショップを開催した。 地域の親子揃っての参加がみられた。	
9月19日(土) 13:00～17:00 吉島公民館 大集会室	トーク&シンポジウム 《トーク：「企画リーダー 岩崎貴宏が語る吉宝丸」、 シンポジウム：「持続可能 なアートを育てる」》	企画リーダー岩崎貴宏によるプロジェクトの全貌を 語るトークと、「持続可能なアートを育てる」と題し たシンポジウムの開催。パネリストとして、ディレ クター柳幸典と日本各地の地域プロジェクトより、 まちの活性化に取り組む4名の専門家を招いて実施 した。	
9月20日(日) 11:00～16:00 光南四丁目町内会 ちびっこ広場	イベント 《ざっくざく！掘り出し フリーマーケット》	吉島地域の方や、広島市立大学の学生、参加アー ティストも出店するフリーマーケットを開催した。	
9月21日(月) 13:00～14:00 吉島地区各所(吉島 福祉センター出発)	イベント 《敬老の日！お孫さんと 宝探し！マイクロバス貸 し切りツアー》	敬老の日に合わせた、スタッフによる解説付きツア ー。マイクロバスを利用して点在する展覧会場を巡 った。	
9月21日(月) 19:00～21:00 吉島地区各所(吉島 福祉センター出発)	イベント 《懐中電灯持参！ナイト クルージング》	懐中電灯持参で巡る夜間ツアー。昼間とは異なる作 品の表情を発見するツアーとなった。	
9月22日(火) 13:00～15:00 吉島地区各所(吉島 福祉センター出発)	イベント 《国民の休日！愛美によ るワクワク解説ツアー》	スタッフによる解説付きツアー。	
9月22日(火) 17:30～18:30 吉島福祉センター	イベント 《アーティストトーク VOL.4》	参加アーティスト小林史子、祐源紘史によるトー クイベント。	
9月23日(水) 18:00～19:00 光南四丁目町内会 ちびっこ広場	クロージングパーティー 《秋分の日！収宝 祭！！》	地域の女性会メンバーを中心に、参加アーティスト、 スタッフも参加して各自がオリジナル・カレーライ スを振る舞う企画を開催した。来場者はそれぞれの 家庭の味をいくつも楽しんだ。 土井翔太によるライブ・パフォーマンス、鹿田義彦 による”王冠探し”イベントも開催した。	

④広島アートプロジェクトスクール・インターンプログラム

●概要

現代美術・アートマネジメントに関心を持つ広島市やその近郊の在住者を対象に、広島で展覧会やアートプロジェクトを企画・実施する地域文化リーダーを育成する目的で、広島アートプロジェクトスクールを開校した。

●実施期間：2009年5月1日～2009年10月4日（計27回）

- ・レクチャー 現代美術やアートプロジェクトの専門家・アーティストによるレクチャー：計15回
- ・実施作業 プロジェクト運営の為の実地作業・アーティストやスタッフの補助など：17回以上

●インターン生：計11人（広島市立大学学生、一般社会人、主婦など）

今給黎佳奈、今本ミドリ、岡永むつ実、佐々木愛、下井田麻美、杉原健太、杉山美也子、高橋葉月、広田明代、松本美紗、山中友美

●プログラム内容

展覧会やアートプロジェクトの企画・運営に必要なことを受講生に総合的に伝え、経験する機会を提供した。

前半は、現代美術・アートマネジメントの指導者、専門家を講師とする週1回の演習授業を実施し、アートプロジェクトについての知識・見解、及び広島アートプロジェクトの企画についての理解を深められるようにした。

後半は、現場に入ってアーティストや講師の元で作業を行うことにより、自ら地域との関わりやアートプロジェクトの働きについて実践的に学ぶことを即す内容とした。会期中には参加アーティストによるトークイベントを一般市民にも公開する形で開催した。

実施スケジュール

5月下旬	インターン生公募開始
6月2日	プロジェクト説明会（インターン希望者対象）
6月20日	公募締め切り
6月下旬	インターン生選考
7月5日～	プログラム実施開始
10月4日	プログラム終了

●実務活動内容

(1) 広報活動

- ・ポスター、チラシ等各種の広報物を関係各所、及び店舗に配布した。
- ・地域新聞「まるよし」をスタッフと共に制作・編集し、週刊で全9号を発行。
(有)土岸新聞舗、(株)中国新聞販売センターの協力のもと、毎週木曜日に吉島地区の約5000世帯に配布した。

(2) カフェの企画

会期中オープンしたカフェ「案内喫茶どんぶりこどんぶらこ」の企画運営を、スタッフと共同で行った。

(3) 現場作業

展覧会の受付及び監視、関連イベントのサポートなど、現場での作業を通し、プロジェクトの実現をサポートした。

- ・ 総合インフォメーションでの受付（展覧会に関する各種案内）、グッズの販売など
- ・ 作品の監視及び、鑑賞方法の説明や作品解説、道案内など
- ・ 会期中オープンするカフェでの調理、接客など
- ・ 会期前・会期中に開催するワークショップ・イベントの補助
- ・ 参加アーティストの作品制作の補助

(4) ドキュメント撮影

会期前よりイベントや搬入作業等、プロジェクトにまつわる全てのプログラムを撮影。

●プログラムドキュメント

日時、場所	プログラム名	内容、講師	
第1回 7月5日(日) 10:00~12:00 広島市立大学芸術学部現代表現研究室	ガイダンス	自己紹介、プログラム紹介、スケジュール調整の実施。インターン生とスタッフとの初顔合わせを行い、参加の同意確認、メーリングリスト開設の為の手続きや、参加にあたっての要望など希望調査も行った。	
第2回 7月12日(日) 10:00~12:00 広島市立大学芸術学部現代表現研究室	レクチャー：「広島アートプロジェクト2009「吉宝丸」展概要、参加アーティストについて」	展覧会の企画概要の説明、参加作家の紹介を行った。現段階での進行状況を共有し、展覧会の大まかなイメージを紹介することで、今後の活動イメージを持ってもらうために開催した。 講師：今井みはる、特別講師：岩崎貴宏	
第3回 7月19日(日) 10:00~16:00 広島市立大学芸術学部現代表現研究室	レクチャー：「広島アートプロジェクト2008「旧中2」について」 実施：広報物発送作業	昨年行った広島アートプロジェクトのスタッフとして運営に携わった友枝、斎藤が紹介した。 講師：友枝望、斎藤彩佳	
第4回 7月26日(日) 10:00~12:00 広島市立大学芸術学部現代表現研究室	実施：ワークショップ	小学校で開催するワークショップの為の参考作品として制作実践を行った。 特別講師：梶木淳子	
第5回 8月9日(日) 10:00~12:00 吉島福祉センター	レクチャー：「日本のアートプロジェクトの歴史」	日本のアートプロジェクトの歴史を紹介。アートプロジェクトの出発から現在に至るまで、各年代各地域で行われたプロジェクトを振り返る。レクチャーと質疑応答。 特別講師：加治屋健司	
第6回 8月16日(日) 10:00~12:00 広島市立大学芸術学部現代表現研究室	レクチャー：「ワークショップ実施後の報告&発表」 実施：自身の活動発表「建築とアートプロジェクトについて」	小学校で行ったワークショップの開催報告をファシリテーターの梶木が行った。インターン生として参加した杉原は、自身の専門分野からアートプロジェクトについての考察を発表した。 特別講師：梶木淳子、杉原健太（インターン生）	
第7回 8月23日(日) 10:00~17:00 麒麟木材株式会社ビル	レクチャー：「吉宝丸」展進行報告 実施：展示会場の整備	現在までのプロジェクトの進行状況等を現場となる吉島にて報告。展示会場の整備を行い、展覧会の下準備を行った。 特別講師：岩崎貴宏	

第8回～26回(内計13回) 8月24日(月)～9月23日(水・祝) 吉島各展示会場	実施：展示作品の設営・広報活動、会期中のアテンダント	運営の実践として、会期前は、各作品の設営補助、広報活動を行った。会期中は、各会場のアテンダントやインフォメーションの受付スタッフなどを行った。	
第13回 9月4日(金) 10:00～15:00 吉島各展示会場	内覧会	開催前にプロジェクトの全貌を把握し、鑑賞者に説明できるように全員で全会場を回る内覧会を開催。 特別講師：岩崎貴宏	
第18回、19回、21回、26回 9月12日(土)、13日(日)、16日(水)、22日(火) 17:30～19:00 吉島福祉センター	アーティストトーク vol.1、2、3、4	参加アーティストによるトークイベントを一般市民にも公開する形で開催した。 第18回 特別講師：水川千春、吉田慎司 第19回 特別講師：山城大督 第21回 特別講師：鈴木勲 第26回 特別講師：小林史子、祐源紘史	
第23回 9月19日(土) 13:00～17:00 吉島公民館	トーク&シンポジウム	特別講師：岩崎貴宏 パネリスト：細淵太麻紀、木ノ下智恵子、山出淳也、野田恒雄、柳幸典 モデレーター：加治屋健司	
第27回 10月4日(日) 10:00～15:00 広島市立大学芸術学部現代表現研究室	ディスカッション「プロジェクトを終えて」	すべての行程を終了して、学んだ事、次に生かせる事などをディスカッションした。 特別講師：岩崎貴宏	

●スタッフ専用メディアの活用

インターン生専用のメーリングリストや、プロジェクトのスケジュールを管理するウェブサイトを立ち上げ、イベントの案内や、スタッフの急募など情報共有を計った。

●待遇

レクチャーの聴講、オリジナルグッズやカタログの進呈。

●アンケート結果

1.授業方法に関して

- ・全くわからない世界でしたが、一歩足を踏み入れたおかげで、アーティストさんの素顔、プロジェクトの裏がみられたこと、それを通して、アートが身近で、そして生活に必要なものだと感じる事ができた。感謝。
- ・良かったです。大学の授業とは違い「実践」で、みんなの頑張りが結果になっていくのが実感でき、とてもやりがいのある授業だったと思います。まだまだ無知なので、レクチャーも為になりました。
- ・アーティストさんのお手伝いなどが良かったです。
- ・レクチャーだけでなく、アーティストさんのサポートや、スタッフの皆さんのお手伝いをする中で、いろいろな話を聞いて、とても勉強になりました。また、ただ話を聞くだけでなく、実践的に動くことで展示会の内側を知ることができたのが、良かったです。いい経験をさせて頂きました。
- ・いろいろなことが経験できたり、アートの視野から知ることもできました。直接作家さんの話を聴けるのは貴重です。
- ・レクチャーよりもプロジェクトの運営補助やアーティストのサポートの方が動いて出来る作業だったのでより充実感がありました。早い段階からそういうことがあるとあると一体感も高まると思いました。
- ・スタッフとして関わることにより、単なるアートへの興味から吉島丸のファンになり応援隊であった。アーティストさんとの関わりがもう少し

しあれば良かった。また、現場でのアシスタント（案内）にもっと関わりたかったです。

- ・去年はそういうことをあまりされていなかったようですが、レクチャーを受けて学ぶこともあったので良かったです。
- ・インターンのレクチャーですが、リサーチ不足のレクチャーが何件ありました。「わからない」という言葉はレクチャーの場において、ど
うなのでしょう？ですが全体として関わって良かったと感じました。勉強させて頂き、ありがとうございました。
- ・このような形式は初めてだったのでおもしろかったです。

2.授業内容に関して

- ・岩崎さんの話がわかり易く、引き込まれました！
- ・楽しかったです。ただ、私達は基本的には先輩方の指示にしたがって、良いものになるようにと思い、1日中必死で手伝った仕事が途中で方向転換して無に帰ってしまったのは正直ショックでした。何職も役割をかねていそがしく大変なのは理解していますが、できればもう少し計画を大事にして頂きたいです。
- ・運営についてですが、インターン生まで情報がまわってこなくて混乱したりしました。未定なことなど急なことが多いように感じました。
- ・自分を含めて、インターン生が受け身すぎる気がしました。ただ与えられるだけではなく、自分たちで調べて、プレゼンする様な授業があってもいいのではないかと思います。(例えば作家調べなど)
- ・もう少し早めに活動内容が把握できると予定や見通しを持ってやれたと思います。
- ・楽しかったです。参加アーティストさんのことをもっとリサーチしていたらよかったなあと反省しました。
- ・9/19のシンポジウムはとても面白かったです。アートプロジェクトを全国規模でみれて楽しかった。インターンミーティングなるものがあったらいろいろ共有できたのでは。
- ・平和公園のなりたちなどを知れてよかったですし、楽しかったです。

3.その他、感想

- ・ありがとうございました！
- ・作家さん、お客さんと近い距離で接することができて新鮮でしたし、あまり話したことのなかった現代表現の方々、この機会により仲良くなったクラスメイト、主婦の方々、色々な人々とコミュニケーションがとれました。とても急がしい夏でしたが充実していました。ありがとうございました。
- ・インターン生も運営などなどにかかわる場合は主要スタッフと情報を均一にしていた方がいいかと思いました。マニュアルだけではわからないことも多いのでなんでも一回はみんなでやってみると実際の運営をする際にやりやすいと思いました。
- ・岩崎さんを始め、スタッフの皆さん、アーティストの皆さん、本当にありがとうございました。インターン生として吉宝丸展に参加でき、たくさんの経験を積ませて頂いたこと、大変感謝しています。
- ・皆さんお疲れさまでした！ゆっくり休んでください。
- ・インターンとして、どこまで関わったらいいいのか、関わらなければ意味がなかったのか？時間的な都合もあり迷いました。
- ・会期中は吉島の人の様子がうかがえて、本当にアートプロジェクトを実行してるんだって思いました。自分はそれまで吉島に来ることが無かったので、会期に入るまで吉島への愛着？が足りなかったと思います。難しいとは思いますが、会期前にもっと吉島の人との交流があったらな、と思います。
- ・地域の中でのアートプロジェクト、小さな輪がつながり広まっていくのを感じました。現場で来展された地域の人と話し温かいものがあった。また、市立大生のがんばりに拍手です。パンフの改編や現場の声を即反映された迅速さに感心しました。今後は、行政や地域、いろんな人をまきこんだプロジェクトに益々成長されることを願います。ありがとうございました。
- ・多くの事を学ばせて頂き、ありがとうございました。

●助成

平成21年度「文化芸術による創造のまち」支援事業【地域文化リーダー（指導者）の育成】

⑤ ボランティア

2009年8月より会期終了まで、広島市の広報誌や地域新聞、ホームページ等を通じて募集を行った。

会期前には内覧会も実施し、参加者のプロジェクトへの理解を深められるよう努めた。

参加者は高校生から年配まで幅広く、昨年に引き続いて応募してくれる吉島地区の方もいた。

● ボランティア参加者

上田良子、大竹英理耶、川成一葉、小寺啓子、新迫優子、新谷祐太、名原宏果、真壁政之、向井茂子、
吉島東学区老人クラブ連合会

● 活動内容

展覧会の受付及び監視、関連イベントのサポートなど、現場での作業を通し、プロジェクト運営をサポートした。

(1) 総合インフォメーションでの受付、グッズ販売

展覧会に関する各種案内、グッズの販売など

(2) 各展示会場での作品監視及び来場者への対応

作品の監視及び、鑑賞方法の説明や作品解説、道案内など

(3) カフェのスタッフ

会期中オープンするカフェでの調理、接客など

(4) 関連イベントのサポート

会期前・会期中に開催するワークショップ・イベントの補助

(5) 各作品制作の補助

参加アーティストの作品制作の補助

● 待遇

参加日数に応じたポイント制によって、オリジナルグッズやカタログ進呈を実施し、より多くの参加者の促進を試みた。

※参加アーティストデザインによる吉宝丸展のオリジナルTシャツ、手拭、プロジェクト終了後のカタログ進呈予定。

● 地域との連携

会期中、吉島東学区老人クラブ連合会によるボランティア協力を得た。

- ・主な活動は、展覧会場での作品の監視及び案内。

⑥ 広報

● 記者発表、プレスリリース

会期終了までのプレス発表やリリースの流れは以下の通り。

期日／場所	実施事項	内容
6月8日(月)	第1回プレスリリース(ウェブ配信)	企画名、開催期日発表
7月22日(水)	広報物(ポスター、チラシ、プレスリリース)郵送	メディア関係者、美術関係者、プロジェクトの協力者への広報物送付を行った
7月22日(水)	各イベントのプレスリリース① (FAX、Eメール、ウェブ配信)	ワークショップのためのプレスリリース
7月28日(火) 広島市役所11階 市政記者室	記者発表	展覧会の企画コンセプト、参加アーティスト、主要プログラムを公開
7月28日(火)	第2回プレスリリース(ウェブ配信)	展覧会の企画コンセプト、参加アーティスト、主要プログラムを公開
8月7日(金) 吉島公民館	地域説明会	吉島地域の方に向けて、プロジェクトの説明会を開催
9月5日(土) 光南四丁目町内会ちびっこ広場	オープニングレセプション+広島アートプロジェクト2008カタログ刊行公式発表	オープニングパーティーに併せて、昨年プロジェクトのカタログ刊行公式発表を開催
9月14日(月)	各イベントのプレスリリース② (記者クラブへの投げ込み、FAX、Eメール、ウェブ配信)	鈴木勲によるイベントのためのプレスリリース
9月17日(木)	各イベントのプレスリリース③ (記者クラブへの投げ込み、FAX、Eメール、ウェブ配信)	5連休の主要プログラムのためのプレスリリース

※詳細なイベントのリリースは随時行った。

● プレスリリース

会期3ヶ月前より、リリースを開始。

記者クラブへの投げ込み、FAX、Eメール、ウェブ配信等、リリースの方法を必要に応じて使い分けを行った。

● パブリシティ

各メディアの主な掲載情報は以下の通り。(2009年10月7日現在)

◎展覧会紹介

【新聞】

西村文 「吉島地区アートの宝船」『中国新聞』、2009年7月29日、朝刊25面。

【雑誌】

『美術手帖』、927号、2009年9月、ART NAVI 19頁、22頁。(株式会社美術出版社)

「お宝目指して、街をぐるり。」『WINK 広島』、191号、2009年9月、80頁。(株式会社アスコン)

「気分はトレジャーハンター」『TJ Hiroshima』、389号、2009年9月、111頁。(産興株式会社)

『BRUTUS』、670号、2009年9月15日、118頁。(株式会社マガジンハウス)

【テレビ】

「広島テレビ News リアルタイム」『広島テレビ』、2009年9月5日。

「旬感★テレビ派！」『広島テレビ』、2009年9月9日。

【フリーペーパー】

「広島アートプロジェクト「いざ、船内探検！ 吉宝丸」展」『市民と市政』、1389号、2009年8月1日、6面。(広島市広報課)

「広島アートプロジェクト2009「いざ、船内探検！ 吉宝丸(きっぽうまる)」展」『Working』、421号、2009年8月、31面(株式会社廣済堂)

「シーサイドで eco 時間」『Cue』、2009年8月21日、18面。(中国新聞社・メディア中国)

「広島アートプロジェクト2009「いざ、船内探検！ 吉宝丸」展」『地域創造レター』、173号、2009年9月、11頁(財団法人地域創造)

「広島アートプロジェクト2009「いざ、船内探検！ 吉宝丸」展」『to you』、294号、2009年9月、3頁。(広島市文化財団)

「広島アートプロジェクト2009「いざ、船内探検！ 吉宝丸(きっぽうまる)」展」『ウェンディ広島』、94号、2009年9月、22面。(ウェンディ企画株式会社)

岩永真由美 「日用品がアート?! 吉島で展示」『Cue』、1261号、2009年9月11日、15面。(中国新聞社・メディア中国)

「広島のみちがアート空間に！現代アートプロジェクト」『リビングまつやま』、1261号、2009年9月12日、3面(えひめリビング新聞社)

「いざ、船内探検！ 吉宝丸」展『ラーラぱど』、2009年10月、85頁。(株式会社ぱど)

【ラジオ】

「桑原しおりの基町こまち」『RCC ラジオ』、2009年8月6日。

「俊雄と裕見子のおもいきり土曜日」『RCC ラジオ』、2009年9月5日。

「モーニングアライブ」『広島 FM』、2009年9月10日。

【ウェブサイト】

『yoisho.net』

<http://www.yoisho.net/top.htm>

『ART iT』、2009年7月28日。

http://www.art-it.asia/u/admin_news/kntDmRGtZs5uxleifONL

「吉島地区一帯をアートに演出」『中国新聞』、2009年7月29日。

<http://www.chugoku-np.co.jp/News/Tn200907290060.html>

『art mania fukuoka』、2009年7月30日。

<http://artmaniafukuoka.blogspot.com/2009/07/hiroshima-art-project-200995-23.html>

『広島市ホームページ』、2009年8月5日。
<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/page/1168838322230/index.html>
「図書館発！アートの風」『広島県立図書館』、2009年8月18日。
<http://www.hplibra.pref.hiroshima.jp/hplib/stenji/sonota/art-wind/art-wind-top.htm>
「いざ、船内探検！吉宝丸」展『SHIFT』、2009年8月21日。
<http://www.shift.jp.org/ja/blog/2009/08/kippomaru-exhibition/>
「企画展「吉宝丸が図書館にやってきた」」『広島市立図書館』、2009年8月28日。
<http://www.library.city.hiroshima.jp/info/topics/0909kippou.html>
「広島アートプロジェクト2009「いざ、船内探検！吉宝丸」展」『ひろしまファンクラブ』、2009年9月3日。
<http://www.city.hiroshima.jp/keizai/fanclub/bn/210903.html>
「広島アートプロジェクト2009 いざ、船内探検！吉宝丸展」『ひろめる』、2009年9月10日。
<http://www.city.hiroshima.jp/riyou/merumaga/hiromail09102.html>
「吉島でアートイベント「吉宝丸展」」『ひろしま情報 a-ネット』、2009年9月14日。
<http://www.a-net.shimin.city.hiroshima.jp/www/contents/1215824653551/index.html>

●批評／レビュー

【新聞】

西村文「日常に潜む美『凍結』」『中国新聞』、2009年9月4日、朝刊12面。
加戸靖史「街はアートだ」『朝日新聞』、2009年9月6日、朝刊13面。
「現代アートでまち再認識」『読売新聞』、2009年9月6日、朝刊31面。
衣川圭「吉島でアートイベント「吉宝丸」展 日用品で作品 街角飾る」『中国新聞』、2009年9月13日、朝刊11面。
西村文「広島アートプロジェクト2009「宝」に変わる日常「環境」「金銭至上主義」問う」『中国新聞』、2009年9月16日、朝刊14面。
平本邦雄「表現の場 自らつくる作家たち「美術とは」在り問う」『中国新聞』、2009年10月15日、朝刊13面。
平本邦雄「表現の場つくる作家たち「アートと社会の関係探る」」『熊本日日新聞』、2009年10月16日、朝刊13面。

【ウェブサイト】

「ビバ☆キャンパス「吉島でアートイベント「吉宝丸展」日用品で作品 街角飾る」」『中国新聞』、2009年9月13日。
<http://www.chugoku-np.co.jp/Ad/menu/education/edu011.html>
村田真「広島アートプロジェクト2009「吉宝丸」」『artscape』、2009年9月15日。
http://artscape.jp/report/review/1209513_1735.html
角奈緒子「広島アートプロジェクト2009「いざ、船内探検！吉宝丸」展」『artscape』、2009年9月15日号。
http://artscape.jp/report/curator/1209085_1634.html
「埃ですらアート作品に。「宝島」へと変身した吉島を、いざ探検！」『HFM Do The エコキャンペーン!』、2009年9月26日。
http://hfmweb.jp/blog/eco/2009/09/post_32.html
「キャンパスリポート 豊かさを問う街なかアートの数々」『中国新聞』、2009年9月30日。
<http://blog.chugoku-np.co.jp/fureai20/?date=20090930#p02>
白坂ゆり「広島アートプロジェクト2009——アーティストが自らの場を拓く」『artscape』、2009年10月15日。
http://artscape.jp/study/npo/1209905_2185.html

◎広報用制作物

主要イメージとなるポスターデザインをその他の広報物にも展開。オリジナルキャラクターやアイコンをつくり、多様な媒体に必要な応じて展開させた。

<p>●ポスター</p> <p>判型：A1 部数：1,200 枚</p> <p>デザイン：坂本史 最終構成：今井みはる</p> <p>監修：岩崎貴宏</p>	
<p>●チラシ</p> <p>判型：幅 210×縦 594mm（縦に二つ折り） 部数：14,000 枚</p> <p>デザイン：坂本史（表）、岩崎貴宏 最終構成：今井みはる、友枝望</p> <p>監修：岩崎貴宏</p>	
<p>●バス車内広告</p> <p>判型：B3 部数：40 枚</p> <p>デザイン：齋藤彩佳 アートワーク：坂本史</p>	
<p>●会場サイン</p> <p>デザイナー佐野研二郎とのコラボレーションにより、各会場の目印として《地球ゴミ袋》を設置した。</p> <p>デザイン：佐野研二郎</p>	

◎交通広告

各社の協力のもと広報物の掲示と配布を行った。特に、展覧会開催地への主要な交通手段となる広島バスを中心に広告出稿した。

社名	広告の内容・枚数等
広島バス株式会社	広島駅から総合インフォメーションを行き来する、吉島線のバス 40 台での車内広告の掲示と吊りチラシの設置
JR 西日本	広島駅でのポスターの掲示
財団法人広島観光コンベンションビューロー	広島駅、地下街紙屋町シャレオ、観光地（広島平和記念公園）の案内所での広報物の配布と掲示

◎ホームページ

広島アートプロジェクトのメインサイトからリンクする「いざ、船内探検! 吉宝丸」展の専用サイトを開設。

ウェブブラウザから簡単に制作・編集などが行なえる、ウェブコンテンツ管理システムを使用することで、変動のあるイベント情報の更新にも複数人のスタッフが随時対応できるようにした。

●地域広報

展覧会開催地である吉島地域の方に向けて、以下の広報活動を行った。

(1) 地域説明会：吉島地域の方に向けてプロジェクトの説明会を行った。

日時：2009年8月7日(金) 18:00～、会場：吉島公民館

(2) 地域新聞「まるよし」：地域新聞「まるよし」をスタッフとインターン生により編集・制作し、週刊で全9号を発行。(有)土岸新聞舗、(株)中国新聞販売センターの協力のもと、毎週木曜日に吉島地区の約5000世帯に配布した。

ホームページからは、カラー版をダウンロードできるようにした。

(3) 回覧板：吉島地区の回覧板でプロジェクトの案内や、参加協力の呼びかけを行った。

(4) ポスターの掲示：ボランティアスタッフの協力のもと、吉島地区の店舗などに協力してもらいポスターの掲示を行った。

(5) 掲示板：各地区の掲示板を活用し、イベントの告知や、チラシ・ポスターの掲示を行った。

●市内広報

(1) ポスター・チラシの掲示と配布

・市内の各店舗などでのポスター・チラシの掲示と配布を行った。広島本通商店街振興組合にも協力を呼びかけ、広島市の繁華街である本通商店街でも広く掲示と配布を行った。

(2) 資料展示

・市内の図書館と連携し、プロジェクトの会期に合わせ広報をかねた資料展示を行った。

広島市立中央図書館 企画展「吉宝丸が図書館にやってきた」 展示期間：9月3日(木)～9月23日(水)	
広島県立図書館 関連資料展示「図書館発！アートの風 ～広島アートプロジェクト 2009～」 展示期間：8月18日(火)～9月20日(日)	
広島市立大学付属図書館 関連資料展示 展示期間：9月5日(土)～9月23日(水)	

・広島市立大学のオープンキャンパスに合わせ、学生を対象に広報をかねた資料展示とチラシの配布を行った。
2009年8月9日(日)

(3) カタログ販売

・会期開始に合わせ「広島アートプロジェクト 2008」のカタログ販売を市内の書店にて開始し、プロジェクトの紹介も行った。
広島 PARCO 新館 5 階のリブコ書店
2009年9月5日(土)～販売開始

⑦プロジェクト関連グッズ

<p>●ガイドブック</p> <p>参加作家の解説や会場案内などを含む、展覧会をより楽しむための情報を掲載したガイドブックを作成し、会期中インフォメーションセンターで販売した。</p> <p>内容</p> <ul style="list-style-type: none">・各作家の紹介（作家解説、作品解説）・会場案内・寺江圭一郎のスタンプラリーシート・地域新聞「まるよし」特別号・吉島地区会場マップ・関連イベントのインフォメーション <p>2009年9月5日 発行</p> <p>デザイン：辻原咲紀（協力：深山大智、新谷裕太） 監修：岩崎貴宏</p> <p>発行：広島アートプロジェクト実行委員会 印刷：株式会社インパルスコーポレーション</p>	 <p>仕様 判型：A5 判 32 ページ 用紙：マットコート110 kg 部数：1000 部 価格：200 円</p>
<p>●Tシャツ</p> <p>吉島の島の外形だけで、人の顔を表した「吉島くん」Tシャツ。</p> <p>デザイン：田中偉一郎</p> <p>カラー：黒、ターコイズブルー、アプリコット</p> <p>価格：各 1000 円</p>	
<p>●手ぬぐい</p> <p>吉島にある主要な歴史的、文化的建築物と、プロジェクトサイトとなった建物をあしらった手拭。</p> <p>デザイン：友枝望</p> <p>サイズ： 限定：200 枚 価格：400 円</p>	
<p>●エコバック</p> <p>昨年プロジェクト「汽水域」で使用したのぼりを再利用して作られたオリジナルバッグ。</p> <p>制作：池田和子 「汽水域」のぼりデザイン：齋藤彩佳</p> <p>種類：風呂敷タイプ、肩掛けタイプ、手提げタイプ</p> <p>価格：700 円</p>	
<p>●缶バッジ</p> <p>ポスターに出てくるキャラクターや建物、そして地域新聞「まるよし」に出てくるキャラクターをバッジにしたもの。</p> <p>制作：田邊美奈子</p> <p>価格：100 円</p>	

⑧レンタサイクル

地域の方や関係者の協力により集められた約 30 台の中古自転車を、地域の方とスタッフの共同で修理した。会期中、総合インフォメーションにて自転車の無料貸し出しを行い、広範囲に広がる各会場間の交通の便が快適なものとなるようにした。大人用の他に、子供用も数台用意した。

⑨ 地域との連携

● 地域定例会

6月5日（金）から月に1～2回開催。

会場：光南四丁目町内会ちびっこ広場

会期3ヶ月前より、吉島地域住民と定期的にミーティングを実施して情報共有を行い、交流を深めた。地域を対象としたプロジェクトの広報や、プログラム実施に対する協力やアドバイスを獲得など、地域からプロジェクトに向けた声を聞くための重要な場となった。

● 地域説明会

8月7日（金）

会場：吉島公民館

会期前に地域の方を対象とした、プロジェクトの概要について説明会を実施した。

● 地域鑑賞ツアー

地域の方を主な対象とした、スタッフによる解説付きツアーを実施した。

9月17日（木）：《地域のみなさんと巡る「吉宝丸」ツアー》

9月21日（月）：《敬老の日！お孫さんと宝探し！マイクロバス貸し切りツアー》

● Caféイベント

地域の方に参加者を募りカフェ「案内喫茶どんぶりこどんぶらこ」で開催した「お料理教室」。第1弾から第3弾まで行った。

● ボランティア

吉島東学区老人クラブ連合会によるボランティアの協力を得た。

9月5日（土）～9月23日（水）

・主な活動は、展覧会場での作品の監視及び案内。

● 吉島地域の女性会によるクロージングパーティーへの料理提供

9月23日（水）

会場：光南四丁目町内会ちびっこ広場

クロージングパーティーにて、吉島東学区女性会メンバーを中心に、参加アーティスト、スタッフも参加して各自がオリジナル・カレーライスを振る舞う企画を開催した。来場者はそれぞれの家庭の味をいくつも楽しむことができた。

● 地域新聞「まるよし」

地域新聞「まるよし」を（有）土岸新聞舗、（株）中国新聞販売センターのご厚意で、毎週木曜日に吉島地区の約5000世帯に配布することができた。

アンケート調査結果

実施概要

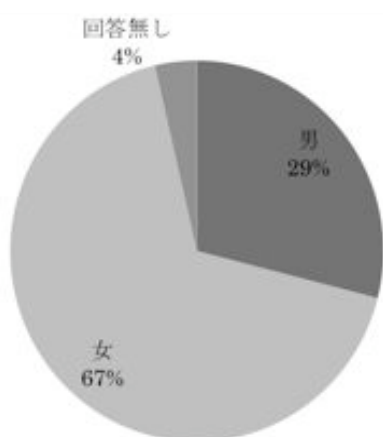
実施日: 2009年9月5(土) ~ 23日(日)

実施場所: 吉島福祉センター (総合インフォメーションセンター、展覧会のスタート地点であり最終地点)

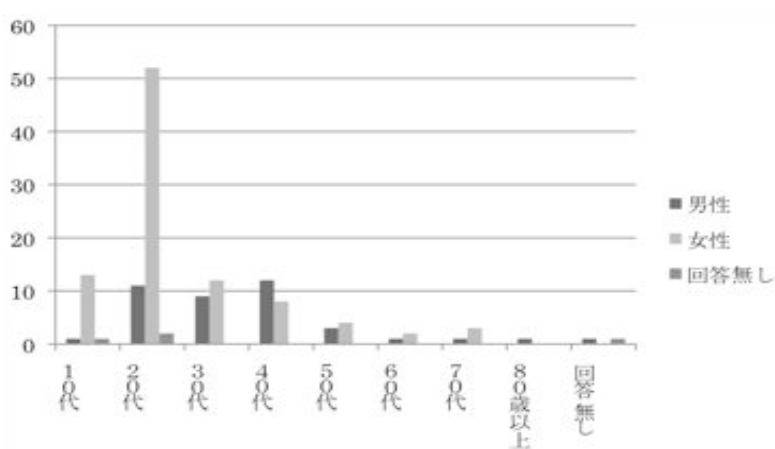
実施方法: 過去2年間のアンケートをふまえ調査書を作成。総合インフォメーションにて調査書を配布・回収した。

有効回答数: 138人

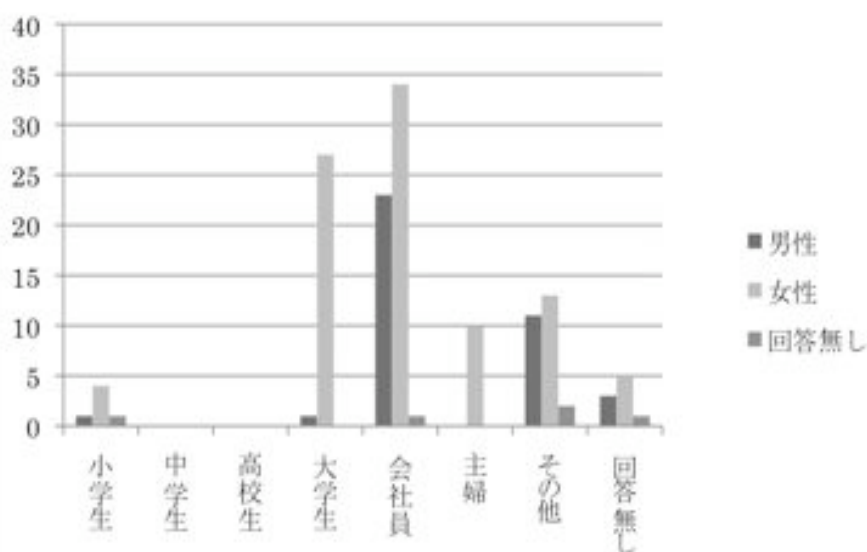
【性別】



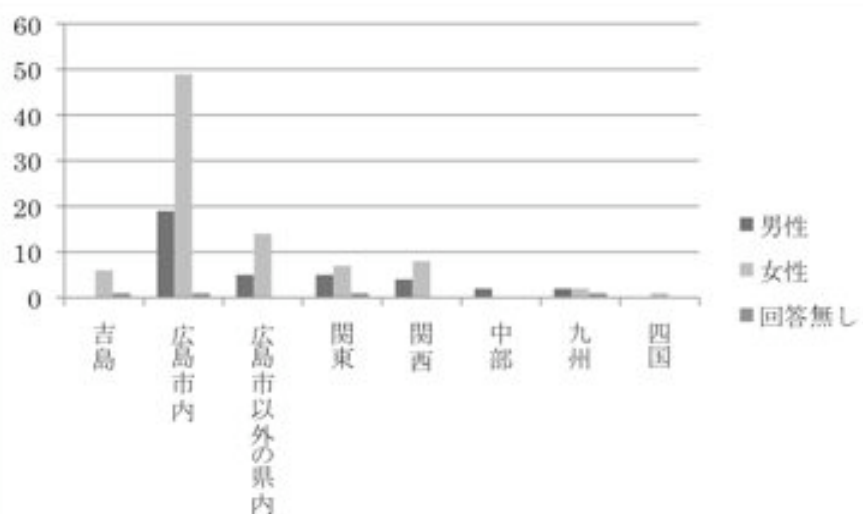
【年代】



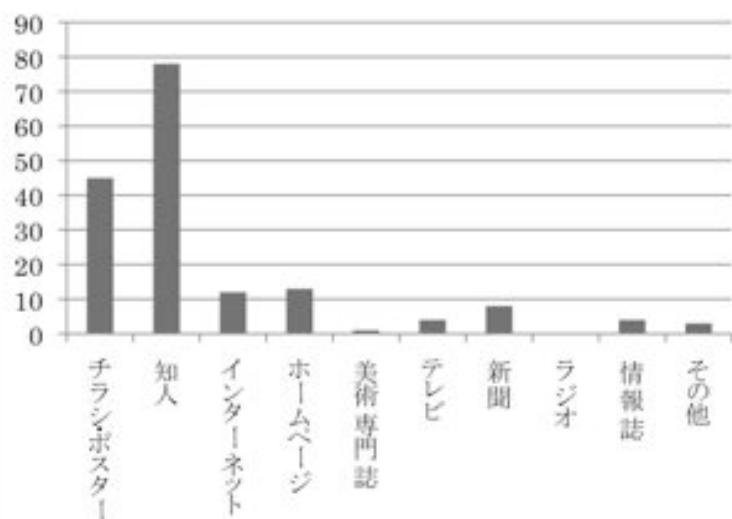
【職業】



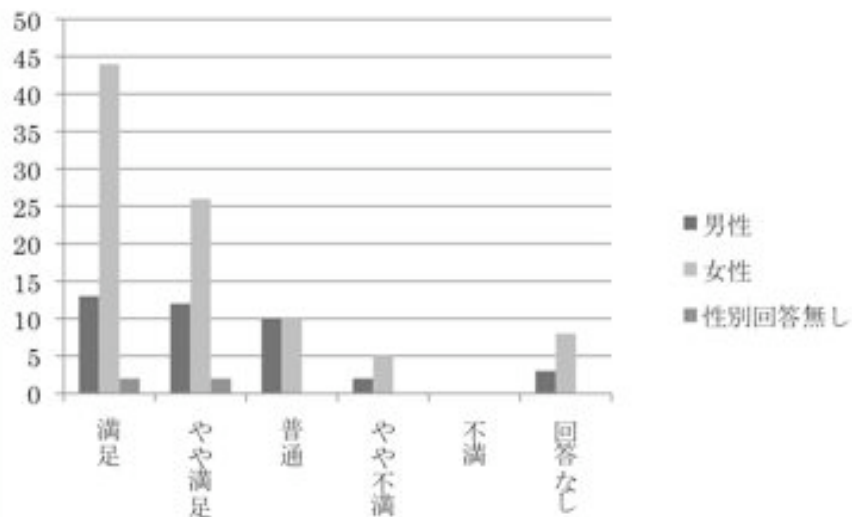
A. どちらからお越しになりましたか？



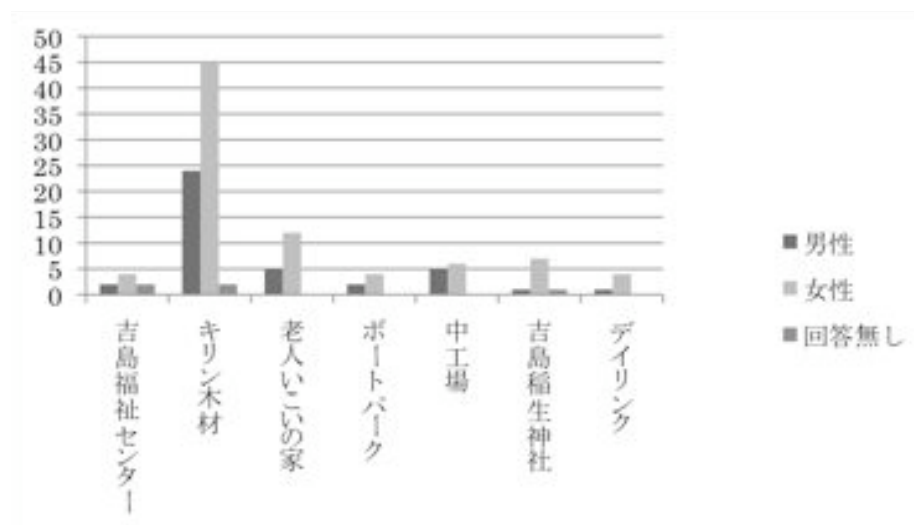
B. このプロジェクトを何でお知りになりましたか？（複数回答可）



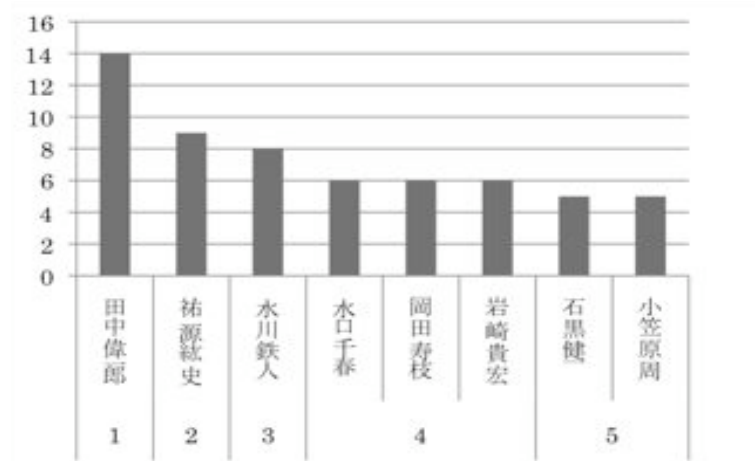
C. 今回の展覧会はいかがでしたか？ご意見がありましたらお聞かせ下さい。



D.どの会場が一番面白かったですか？



E.よろしければ、具体的な作家をおきかせください。



プロジェクトを享受している人物像

- ・女性の方が男性より2倍以上来場している。
 - ・広島市内在住、20代、会社員の女性が大半を占める。知人を介してプロジェクトの情報を得ている。
 - ・男性は、20代、40代に分かれ、いずれも会社員。ネットを通してプロジェクトの情報を得ている特徴がある。
 - ・男性女性とも中高生は0人。
 - ・作品が集中するキリン木材が人気。次に老人の日常とアートがクロスするいこいの家が予想以上に好評。
 - ・田中偉一郎、水川千春以外は大学関係者の作品が人気。
- (男女比に関しては、男性の方が女性に対してアンケートを書かないという実体もある。)

1 展覧会についてご感想やご意見などをお聞かせ下さい。

一般的な感想

- ・いいですね。(20代・九州)
- ・非常に楽しかったです。(30代・県内・会社員・男性) (10代・県内・小学生・男性) (20代・市内・女性)
- ・今日は時間が早く過ぎてあっという間に終わってしまった…楽しかったー。(40代・市内・会社員・女性)
- ・面白かった。(10代・吉島・小学生・女性) (20代・市内・大学生・女性)
- ・色々趣向が凝らしてあって面白かったです。(40代・市内・女性)
- ・すばらしかったです。(20代・九州)
- ・最高でした。(30代・市内・会社員・男性)
- ・非日常体験できました。(30代・県内・会社員・女性)
- ・未来がある。(10代・吉島・小学生)
- ・学生の皆さまの頑張りが伝わってきました。アートな地区すごいですね。(30代・県外・主婦・女性)

作品について

- ・様々な作品があって本当に面白かった！！来年も楽しみ！（10代・市内・大学生・女性）
- ・学生の作品が面白かった。(30代・県外・会社員・男性)
- ・各人のすばらしい作品ばかりでした。(50代・県内・会社員・男性)
- ・面白い作品にたくさんであって嬉しかったです。(50代・市内・女性)
- ・はやりの展覧会形式ですが、優れた作品が多く楽しめました。(50代・関東・男性)
- ・それぞれすごい作品があってすごく時間もかかって大変だったろうな！！とおもいました。これからもガンバッテください。(50代・市内・専門学校生・女性)
- ・発想のユニークさに感嘆し、アーティスト（学生さん）の懸命さにうたれました。(70代・市内・主婦・女性)
- ・日頃気付かない、何気ないものをアートにする表現力に驚きました。王冠の場所が分かりにくいです。(20代・市内・会社員)
- ・見方や考え方で何でもアートになるんだなあと感心しました。パクリます（笑）(20代・市内・会社員・女性)
- ・普段は何の価値もない汚れとかゴミがアーティストさんの手によって生きてくる、その発想と作品に感動しました。(40代・会社員・女性)
- ・身近なものや、ゴミを使ってアートにするというのが面白かったです。(20代・市内・大学生・女性)
- ・意外性、懸命さ（70代・県内・主婦・女性）
- ・デリケートな問題に真摯に取り組み、その中で創意に富んだアイデアを発揮されていて素晴らしいと思いました。吉島だけにとどまらず、人の営為全体とその問題を感覚で消化して、訴えるものがあったと思います。(20代・関西・大学生・女性)

各展示会場について

- ・今年初めて来ましたが、個性的で楽しい展示が多くあり、あっという間に時間が過ぎました。(20代・市内・会社員・男性)
- ・いろいろな場所に作品があり、驚かされるばかりでした。とても楽しかったです。(20代・関西・会社員・男性)
- ・見所がたくさんあって、考えさせられることもあって楽しかったです。(20代・市内・会社員・女性)
- ・普通の町をアートにするのはおもしろいと思います。(30代・県外・会社員・男性)
- ・このような展覧形式の楽しさは、展示されたものではない町中の美や見落としていた景色が、道端の排ガスで汚れた松草まで作品として見出せるところです。(40代・市内・会社員・男性)
- ・それぞれの会場が面白い。地域性がある。(20代・県内・大学生・女性)
- ・通り過ぎてしまいそうな会場もありましたが色々な会場を巡るのはとても楽しいです。(20代・市内・会社員・女性)
- ・展覧会の本体ではないですが、中工場が見れてよかった。(20代・中部・会社員・男性)
- ・王冠さがしおもしろかったです、町を取り込んで一周させるコンセプトが面白いです。(30代・市内・会社員・男性)
- ・老人がリラックスしている横にすぐアート、その感じがとてもステキだった。街がアートになっているとても自然な所が気どってなくて楽し

めました。(30代・県内・会社員・女性)

- ・いこいの家全体の雰囲気とアートが絶妙な空間を提供してくれました。(20代・県内・会社員・男性)
- ・老人いこいの家にいた本物の老人がアートのようでした。全部すごかった。自転車での移動が大変でした。ですが地区がアートになっているのはすごい。(30代・県外・主婦・女性)
- ・雑居ビルでの展示はすごく雰囲気があっていいと思います。(20代・市内・会社員・女性)

オリエンテーリング (自転車、宝探し) 形式について

- ・自由に回れる感じ、写真を自由に撮れる所が良かったです。(20代・四国・会社員・女性)
- ・自転車で自由に回れたのが楽しかったです。(10代・市内・大学生・女性) (20代・市内・大学生・女性) (20代・市内・会社員・女性) (10代・市内・大学生・女性)
- ・自転車に乗って旅気分が楽しかったです。(20代・市内・大学生・女性)
- ・自転車で回れるのはとても素敵でした。続けて頑張りたいです。(30代・関東・女性)
- ・自転車の移動で気持ちよく展示を見ることが出来ました☆天気の良い日でよかったです。(20代・中国地方・大学生・女性)
- ・自転車の貸し出しがあり、とても有意義に回ることが出来ました。道中で地域の人ともふれあえ面白かったです。(20代・市内・女性)
- ・自転車あって良かった。1つの建物に色々あるのは見やすいし、楽しい。(20代・県内・女性)
- ・会場が広過ぎて疲れた。ただ自転車の貸し出しはすごくいいと思う。発見する楽しさがあった。(20代・県外・大学生・女性)
- ・自転車で移動というアイデアはよかった。ただ作品のクオリティがいまいちのものが多かった。(40代・市内・男性)
- ・まわった後から、あんなのもあったんだと気付くことが多かったので、ある程度予習しておけば良かったと思いました。でも宝探しみたいでとても楽しかったです。スタンプラリーは燃えました。(30代・市内・主婦・女性)
- ・探すのが大変だったけど面白かったです。(20代・県外・大学生・女性)
- ・宝探的な感じが面白かったけど道が少し分かりづらかった。(10代・市内・大学生・女性)
- ・最後まで回って来た時の達成感がありました。とても楽しかったです。(20代・市内・大学生・女性)
- ・宝探してこういうことか！と驚きと発見があってとても楽しかったです。(20代・市内・大学生・女性)
- ・地図では少し曲がる所が分かりづらかった。けど迷ったのも楽しかったです。(20代・市内・会社員・女性)
- ・初めて参加したのですが、オリエンテーリングのように見て回る形式や、いろんな発想で作られる思いもよらない作品にたくさん触れられて楽しかったです。特に吉島集会所は建物自体もいい味出して好きです。(20代・市内・会社員・女性)
- ・地図が分かりやすかった。またレンタル自転車で広い会場も楽に回ることができた。(40代・関東・会社員・男性)
- ・いろんな場所にまわられたのが楽しかった。(20代・県内・会社員・女性)
- ・街の住民の方々の協力があって、吉島一体となって取り組んでいる所が良かった。レンタサイクルもすごく良かったです。(20代・市内・会社員・女性)
- ・アートも一つ一つ面白かったが、アートを通して普段の街の中にある面白さを再発見できた！！予想以上に楽しむことが出来ました。(20代・市内・会社員・女性)
- ・知らない土地をまわられたことも併せて面白かった。(20代・市内・大学生・女性)
- ・作品以外にも吉島の景色が素敵だったので、自転車で回ってとても楽しい時間を過ごせました。(20代・市内・女性)
- ・“吉島”が新しい町になっていてすごく広くていろんな場所があるんだナァ！！と思いました。(50代・市内・専門学校生・女性)
- ・吉島という街を自転車で回ることによって地域の人と会話したり、普段感じれない風や草や空や自然を感じる事が出来ました。いつもの運動不足も解消されました。今回のような地域密着型は凄く良いと思います。(20代・市内・会社員・女性)
- ・広島は地元だけど、吉島をこんな風に回ったことがなかったし、展示の仕方も良かった。(10代・県内・大学生・女性)
- ・吉島へはあまりくることがないので再発見でき面白かったです。(20代・県内・会社員・女性)
- ・のどかな吉島住人たち。半分新しく半分は息たえてる町並。過ぎ去った昭和たちが大好きです。(30代・市内・女性)
- ・町の息づかいが感じられるような作品が好きです。町の人と作り上げるような。(20代関西大学生女性)

スタッフについて

- ・説明があって本当に良かったです。(40代・吉島・会社員・女性)
- ・解説をしてくださるので素人にも理解しやすかった。(40代・市内・会社員・女性)
- ・案内して下さる方の真摯な態度、謙虚な姿。(70代・県内・主婦・女性)
- ・自転車使いやすかったです。スタッフさんも優しい。(20代・関西・女性)
- ・キリン木材で案内されていた新谷さんが作品について説明して下さり一層楽しく鑑賞することが出来ました。(60代・県内・主婦・女性)
- ・今回のようにバスで案内してもらえれば大変助かります。(70代・市内・主婦・女性)
- ・地図や場所が分かりにくかった。各展示場では丁寧に説明してもらって楽しかった。(50代・市内・女性)
- ・作家本人さんがその場におられていたので直接お話を来ることが出来て良かったです。(10代・市内・大学生・女性)

2 今後どのような展覧会を希望されますか。

継続を望む声

- ・やりつけてください♥(30代・市内・女性)
- ・このままとにかく続けていけばいいかな。(50代・関西・主婦・女性)
- ・是非続けていってください。楽しみにしています。(20代・関東・女性)
- ・これからもこのようなプロジェクトを続けていってほしいです。(20代・関西・会社員・男性)
- ・これからも毎年続けていただきたいです。(50代・県内・会社員・男性)
- ・今後も継続、開催してください。(40代・県外)
- ・またこのような展覧会をして欲しいです。(30代・県内・会社員・女性)
- ・同じような感じで。(30代・県外・会社員・男性)
- ・このようなプロジェクトをもっと活発化して欲しい。楽しむことが出来ました。(20代・市内・会社員・女性)
- ・同一場所(70代・県内・主婦・女性)
- ・一つの場所にたくさん作品があるとお得感があるので良い。(キリン木材のと同のような)あと広すぎて1日じゃ回りきれないので…。(20代・市内・会社員・女性)
- ・今回のように自転車移動だと、広島市の街の良さなども知れるので、続けていただけると嬉しいです。(20代・中国地方大学生・女性)
- ・これからも頑張ってください。(20代・関西・大学生・女性)
- ・まあ、このぐらいがいいでしょう。(20代・九州)

今回以上の物を

- ・また日銀使って欲しい。旧中も。(20代・関東・女性)
- ・前回のよう旧日銀や横川、アートの町を取り込んでほしいです。(30代・市内・会社員・男性)
- ・もっともっと、町全体で盛り上げてほしい。(20代・市内・会社員・男性)
- ・今回以上のものを。(20代・市内・大学生・女性)
- ・今回のような感じでもっとart作品が(驚く作品)たくさんある展覧会。体感できるもの。(30代・市内・会社員)
- ・作品の面白さをもう少しプラスしてもらえたらと思います。(20代・県内・大学生・女性)
- ・作品の質?配置?(20代・関西・女性)
- ・内蔵にガツンとくるやつ。心臓わしづかみにされそうなやつ。(20代・九州・会社員・女性)
- ・また別の場所であるといいです。もう少し大きな作品が見たいです。(20代・県内・会社員・女性)
- ・塑像が多いですが、絵画作品等もバランス良く取り入れたほうが良くなると思います。(40代・関東・会社員・男性)
- ・現代美術ももちろん絵画やイラスト、彫刻など複合的な展覧会を目指して欲しい。(20代・県外・大学生・女性)

提案・希望

- ・開催地の住民をもっと巻き込んでほしいと思った。(40代・市内・男性)
- ・地域に密着したアート。(20代・中部・会社員・男性)
- ・吉島の町を生かした展覧会を希望します。(20代・市内・会社員)
- ・現代アートをもっと身近に感じる展示会。(20代・市内・大学生・女性)
- ・地域を巻き込んでいて、かつレベルの高い展覧会(20代・市内・大学生・女性)
- ・参加者も参加できる形がおもしろいんじゃないですかね。(30代・県外・会社員・男性)
- ・さわれる作品。(10代・県内・小学生・男性)
- ・触れる作品と参加型の展覧会。(30代・県内・会社員・男性)
- ・展示場所を徒歩圏内にして欲しい。(30代・市内・主婦・女性)

その他の希望案

- ・言葉と心の夢のアート。(10代・吉島・小学生)
- ・ほっこりする感じのやつ(20代・九州・男性)
- ・写真と映像でつづる展覧会(生演奏とのコラボ)(20代・県内・会社員・男性)
- ・日本独自のなもの(古風な)。(10代・市内・大学生・女性)
- ・水に関するアート(20代・関東・会社員・女性)
- ・六角水晶みたいなやつをたくさん作って欲しい。(10代・吉島・小学生・女性)
- ・吉島商店街の暗さを使った光のアートを見てみたいです。(40代・市内・会社員・男性)
- ・呉でもお願いします。(30代・県内・会社員・女性)
- ・小学校等、学校の中の展示も見てみたいです。(20代・市内・大学生・女性)
- ・もう少しゆっくりいろんな作品を見たかった(40代・市内・会社員・女性)
- ・壁一面の山水画を見たい。(40代・吉島・女性)
- ・何でも!!(50代・市内・専門学校生・女性)
- ・にぎやか(10代・市内・大学生・女性)

3.その他お気づきのことや疑問がありましたらお聞かせ下さい。

作品について

- ・同じようなサイズの作品が続いて少しマンネリしてしまいました。(20代・関西・女性)
- ・コンセプトがあることはいいのですが、少しにすぎているかな?という印象作品も。もうちょっと1つ1つ独特な感じができれば…(20代・関東・大学生・女性)
- ・なんかみんな小一さくて かしこくて 内蔵にガツときませんでした。なんかみんな似てました。(20代・九州・会社員・女性)
- ・親しみやすさのある作品=クオリティの低い作品ではないと思います。もう少しアマチュアということに甘えない作品を作って欲しいです…。あのポスターくらいの構成力が広い空間でも持てたらいいと思います。展示室の隅々まで心地よい緊張を感じさせられるような。さすがにこの量の展示でしたらもうちょいコンパクトにまとめた方がいいですね…。(20代・関東・大学生・女性)
- ・年々しょぼくなっているように感じる。第一回が一番良かった。(20代・市内・会社員・男性)
- ・予算とかの都合もあるのですが、小品が多く、少し物足りなさを感じた。(40代・関東・会社員・男性)
- ・作品の数がまだまだ増えてもいいと思った。(40代・市内・男性)
- ・もっと大きな規模になってくるといいですね。広告、宣伝をもっとすべき。アートとアートじゃないものの区別がつかないおもしろさ。(20代・市内・男性)

サイトの規模について

- ・範囲がもう少し狭ければ… (50代・市内・女性)
- ・疲れます。エリアをコンパクトに。(40代・関東・男性)
- ・つかれますね。雨だったのでひもじい気持ちでした。地図もなく、発見した時は嬉しかったです。(10代・市内・女性)
- ・雨の日は困る。(50代・関西・男性)
- ・面白いが暑い…。もっと涼しい時期にやって欲しい。(40代・吉島・女性)

サインなどについて

- ・まとまりがあったのはとても良かったです。もう少し目印があったら回りやすかったかも。(20代・関東・女性)
- ・時間がないこともあり、道が分かりづらかったので、もう少し矢印カードを増やしていただければと思いました。プロジェクト自体は大変面白かったです。(30代・関西・会社員・女性)
- ・作品自体は素晴らしいけど、場所が分かりにくい。(30代・市内・主婦・女性)
- ・場所によっては(建物内)どこが展示場所でどこが普通のスペースか分かりにくい所がたくさんあった…。地図がちょっと分かりにくかった。(30代・市内・会社員)
- ・どこに作品があるのか分かりづらく、フレスタの駐車場は危ないと思いました。(20代・市内・女性)
- ・道が少し分かりにくかったです。3 (20代・県外・会社員・女性)
- ・もう少し展示物がどこにあるかの案内が欲しかったです。(20代・県内・会社員・女性)
- ・街、地図に目印がなく、迷いやすかった。もっと詳しいガイドが欲しい。(20代・関東・会社員・女性)
- ・地図が欲しかったです。(10代・市内・大学生・女性)
- ・それぞれの場所が地図で分かりにくかった。各会場内の図も分かりにくかった。どれが作品か分からない…。(30代・市内・会社員・女性)
- ・1つ1つ面白かった。けど、ふれあいをあまり感じられなかった。工場などわかりづらい場所が多かった。(20代・市内・会社員・男性)
- ・鑑賞者の便(立場)に沿った対応をもっと心がけて欲しい。マップ、案内標識(道、作品タイトル板、スタッフネームプレート)
- ・会場がどこにあるかを路上から分かりやすく。サインをもっとしっかりして欲しかった。挨拶！(30代・九州・男性)
- ・もう少し案内とか宣伝があれば嬉しいかも。(30代・市内・会社員・男性)
- ・バスツアーで連れて行ってもらったのでよかったが、個人では場所が不明と思う。(60代・市内・男性)
- ・作品の近くに誰もいないので、分かりにくいし何も聞けない。(20代・市内・会社員・男性)
- ・もっと作品の説明をできる人を配置してほしいかなと。(30代・市内・会社員・男性)
- ・日曜日でお休みの会場があったのが残念。お店だから仕方ないけど。(40代・関西・会社員・男性)

場所性について

- ・期待以上におもしろかった。場所性の抽出がより鮮やかであればなおよかった。(30代・九州・男性)
- ・場所性が結びつかない点がいくつかありました。(20代・九州・男性)
- ・「場」とのつながりが弱い。ここでやらなくても。小さい。(30代・市内・会社員・男性)

各コンセプトについて

- ・個々の作品について、作家の意図や思いをもう少し感じたかった。(20代・市内・会社員・男性)
- ・アートに関して、もう少し説明の書いてある冊子があると嬉しいです。(20代・中国地方・大学生・女性)
- ・作品の説明をきちんとしたパンフ、貼り紙があれば良いと思いました。(20代・市内・会社員)
- ・〇〇丸を実感できづらかった。コンセプト、エリアをしばったほうがよい。(40代・関東・男性)
- ・おじいちゃんとかに作品の意味が全然伝わってなかったです。(20代・市内・大学生・女性)
- ・スタッフの意識の低さがもったいない。作品のレベルにばらつきはあったが、楽しかった。(市内・会社員・男性)

自転車について

- ・もっと自転車を増やしてほしい。(30代・市内・会社員・男性)
- ・すごく楽しかった。一点難を言えば自転車の鍵をかけるのがめんどくさかった。(40代・市内・女性)
- ・自転車のサドルが高すぎて、足がつかなかったため、こわかった。(30代・市内・会社員・女性)
- ・自転車のサイズが大きすぎて、サドルを下にも出来なくて足が届かなくて…1回大コケしました…。痛いですが、1日楽しめました。ありがとうございました。(30代・市内・会社員)
- ・自転車の空気が少なく乗りにくい。(30代・市内・会社員・女性)

改善点・提案

- ・自転車で回るのは気持ち良かったです。子どもを乗せるママチャリがあれば良いと思った。(30代・県内・会社員・女性)
- ・ミニスカートの人の為にレギンス用意してください…。(20代・関東・大学生・女性)
- ・所要時間の目安が分かっていたら良かったと思います。(20代・市内・会社員・女性)
- ・推奨コースなどの案内があると助かる。(20代・県内・会社員・男性)
- ・会場付近の角などにお店の名前など入れてほしいです。(県外)
- ・グルメガイドあったらいい。作家の紹介がもっとあると嬉しい。(20代・県内・女性)
- ・いい運動になりました。グルメガイドもあったら嬉しい。(20代・県内・会社員・女性)
- ・可能であれば、年齢、出身地等があればいいのでは？(60代・県内・主婦・女性)
- ・作品に説明がついていたら分かりやすい。(30代・市内・会社員・女性)
- ・アンケートでもっと突っ込んで個人情報を集めて広報に活かされてもいいのでは？メールマガジンの発行など、あまりお金をかけずに出来ることもあるので。(20代・関東・女性)

その他

- ・すいません、もっと早く来るべきでした。(20代・市内・会社員・女性)
- ・スタッフの方はどのような方になっているのでしょうか？(20代・四国・会社員・女性)
- ・株式会社シラタキ(ぎんざ化粧品店の斜め向かい)の屋上にかんからが吊ってあるんですが、アレは何？(30代・市内・女性)
- ・お疲れさまでした。(20代・市内・大学生・女性)

広島アートプロジェクト 2009

「いざ、船内探検！吉宝丸」展 開催結果報告書

編集・制作：友枝望、齋藤彩佳

発行：広島アートプロジェクト実行委員会

2009年10月